

熊本市 感染症発生動向調査 速報



●ゴールデンウィーク中海外へ渡航されるかたへ

海外滞在中に感染症にかかることなく、安全で快適に旅行し、帰国することができるように、海外で注意すべき感染症及びその予防対策をご確認ください。海外へ渡航される方は、下記サイトを確認されることをお勧めします。

※ゴールデンウィークにおける海外での感染症予防について(厚生労働省)

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/travel-kansenshou.html

●手足口病が2週連続増えています

手足口病は5月頃から増え始め、夏場に流行する傾向があります。

◆手足口病

コクサッキーウイルスをはじめとする、エンテロウイルスの感染によって、口の中や、手足などに小さな水ぶくれ(水疱)ができる感染症です。発生の9割が、5歳以下の乳幼児です。

◆どんな病気？

・症状……口の中、手のひら、指、足の裏などに2～3mmほどの水疱性発疹が出ます。
 この水疱は、かゆみがなく、痂皮(かさぶた)を作らずに治るのが特徴です。
 発熱を伴うこともありますが、38℃以下の場合がほとんどです。

・潜伏期間…3～5日程度

・感染経路…感染者のくしゃみのしぶきや鼻水、水疱、便の中に含まれるウイルスが、手などを介して口や鼻の中に運ばれることによって感染します。
 症状がなくなったあとも、2～4週間は便の中にウイルスが排泄されます。

・流行期……夏(7月下旬ごろ)にピークを迎えますが、秋から冬にかけても少し発生がみられます。

◆かかったらどうすればいいの？

・ほとんどの場合、特別な治療は必要なく自然に治りますが、まれに髄膜炎や脳炎を合併することがあります。
 元気がなくぐったりしていたり、頭痛や嘔吐、高熱、2日以上発熱があるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。
 ・口の中を痛がって、水分や食事がとれなくなることがあります。薄味でやわらかいもの、白湯やスポーツ飲料などをこまめにとらせ、脱水にならないようにすることが大切です。

◆予防法は？

・手洗いが基本です。特に感染者の排便後の手洗いが重要です。感染しているこどものおむつを取り替えたり、鼻水をとったりした後は、しっかり手を洗いましょう。



期 間		平成29年 第15週		平成29年 第16週	
		4/10～4/16		4/17～4/23(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		91	3.64	73	2.92
RSウイルス感染症		0	0.00	0	0.00
咽頭結膜熱(プール熱)		8	0.50	11	0.69
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		35	2.19	36	2.25
感染性胃腸炎		89	5.56	83	5.19
水痘(みずぼうそう)		5	0.31	8	0.50
手足口病		22	1.38	35	2.19
伝染性紅斑(りんご病)		4	0.25	3	0.19
突発性発しん		22	1.38	9	0.56
百日咳		0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ		0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		9	0.56	8	0.50
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		8	1.60	14	2.80
細菌性髄膜炎		0	0.00	1	0.20
無菌性髄膜炎		1	0.20	1	0.20
マイコプラズマ肺炎		1	0.20	1	0.20
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		10	2.00	10	2.00